

変化を恐れず

校長 栃倉 和則

新型コロナウイルス感染爆発も丸々二年が経ち、足掛け三年目に突入しています。よく比較される百年前のスペイン風邪は三年で終息したと言われています。当時は、ワクチンはもとより抗生物質もなかった時代でしたが、医学や科学の進んだ現代にあってもまだまだウイルスに悩まされ続けている。誰がこのようなことを予想したでしょうか。

豊多摩高校でも、東京都のガイドラインに従って、さまざまな行事を中止したり、形態を変えたりして実施してきました。そうして丸二年。すなわち、一、二年生は行事をほとんど経験せずにここまで来たこととなります。例えば合唱コンクールの実施について確実にノウハウが途絶えてしまったことになるわけです。

希望的観測を込めて言えば、きっと近い将来コロナの終息はやってきます。その時に私たちはどうすべきでしょうか。以前の状態に戻れるでしょうか。それは無理だと思うのです。いや無理です。昔の豊多摩を知る人も少なくなりました。何が豊多摩の基準なのか、そんなものはきっとありません。パンデミックが引き起こしたのは、そんな大きな価値の変化だと言えます。

このような状況にあって、私は皆さんに「変化を恐れないでほしい」と強く言いたい。変わってもいいじゃないですか。豊多摩高校が変わることを恐れてはいけないのです。肝心なのは、ここにいる学友たちが力を尽くして生き生きと努力する姿にほかなりません。そこで豊多摩の新しい時代を築いていけばよいと思うのです。

私は今、John F. Kennedy の言葉をかみしめています。Change is the law of life. Those who look only to the past and present are certain to miss the future. 「変化とは人生の法則である。過去と現在しか見ない人は、確実に未来を見失います。」

*Touch the Sky! TOYOTAMA!*